



FPolicyサーバーの接続を管理します。

ONTAP 9

NetApp
December 20, 2024

目次

FPolicyサーバの接続を管理します。	1
外部FPolicyサーバへの接続	1
外部FPolicyサーバからの切断	1
外部FPolicyサーバへの接続に関する情報を表示する	1
FPolicyパススルーリード接続のステータスに関する情報を表示する	4

FPolicyサーバの接続を管理します。

外部FPolicyサーバへの接続

接続がすでに終了している場合は、ファイル処理を有効にするために、外部FPolicyサーバへの手動接続が必要になることがあります。サーバのタイムアウトに達した後、または何らかのエラーが原因で接続が終了します。または、管理者が接続を手動で終了することもできます。

タスクの内容

致命的なエラーが発生すると、FPolicyサーバへの接続が終了する可能性があります。致命的なエラーの原因となった問題を解決したら、FPolicyサーバに手動で再接続する必要があります。

手順

1. コマンドを使用して外部FPolicyサーバに接続します `vserver fpolicy engine-connect`。

コマンドの詳細については、マニュアルページを参照してください。

2. コマンドを使用して、外部FPolicyサーバが接続されていることを確認します `vserver fpolicy show-engine`。

コマンドの詳細については、マニュアルページを参照してください。

外部FPolicyサーバからの切断

外部FPolicyサーバからの手動での切断が必要になる場合があります。これは、FPolicyサーバで通知要求の処理に関する問題が発生した場合や、FPolicyサーバでメンテナンスを実施する必要がある場合に適しています。

手順

1. コマンドを使用して、外部FPolicyサーバから切断し ``vserver fpolicy engine-disconnect`` ます。

コマンドの詳細については、マニュアルページを参照してください。

2. コマンドを使用して、外部FPolicyサーバが切断されたことを確認します `vserver fpolicy show-engine`。

コマンドの詳細については、マニュアルページを参照してください。

外部FPolicyサーバへの接続に関する情報を表示する

クラスタまたは指定したStorage Virtual Machine (SVM) の外部FPolicyサーバ (FPolicyサーバ) への接続に関するステータス情報を表示できます。この情報は、接続されているFPolicyサーバを確認するのに役立ちます。

タスクの内容

いずれのパラメータも指定しない場合、次の情報が表示されます。

- SVM名
- ノード名
- FPolicyポリシー名
- FPolicyサーバのIPアドレス
- FPolicyサーバノステータス
- FPolicyサーバのタイプ

クラスタまたは特定のSVMのFPolicy接続に関する情報の表示に加え、コマンドパラメータを使用して、他の条件によってコマンドの出力をフィルタリングすることができます。

パラメータを指定すると、リストされているポリシーに関する詳細情報を表示できます `-instance`。また、パラメータを使用して、指定したフィールドのみをコマンド出力に表示することもできます `-fields`。パラメータのあとに `-fields`` と入力すると、使用できるフィールドを確認できます ``?`。

ステップ

1. 適切なコマンドを使用して、ノードとFPolicyサーバの間の接続ステータスに関する情報をフィルタリングして表示します。

接続ステータス情報を表示する FPolicy サーバ	入力するコマンド
指定したもの	<code>vserver fpolicy show-engine -server IP_address</code>
指定したSVMのもの	<code>vserver fpolicy show-engine -vserver vserver_name</code>
指定したポリシーに関連付けられているポリシー	<code>vserver fpolicy show-engine -policy-name policy_name</code>
指定したサーバステータスのファイル	<code>vserver fpolicy show-engine -server-status status</code> サーバのステータスは、次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none">• <code>connected</code>• <code>disconnected</code>• <code>connecting</code>• <code>disconnecting</code>

指定したタイプのファイル	<pre>vserver fpolicy show-engine -server-type type</pre> <p>FPolicyサーバのタイプは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • primary • secondary
指定した理由で切断されたもの	<pre>vserver fpolicy show-engine -disconnect-reason text</pre> <p>切断の理由はさまざまです。切断の一般的な理由は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disconnect command received from CLI. • Error encountered while parsing notification response from FPolicy server. • FPolicy Handshake failed. • SSL handshake failed. • TCP Connection to FPolicy server failed. • The screen response message received from the FPolicy server is not valid.

例

次の例は、SVM vs1.example.com上のFPolicyサーバへの外部エンジン接続に関する情報を表示します。

```
cluster1::> vserver fpolicy show-engine -vserver vs1.example.com
FPolicy
Vserver      Policy      Node      Server      Server-      Server-
-----      -
vs1.example.com policy1    node1      10.1.1.2    connected    primary
vs1.example.com policy1    node1      10.1.1.3    disconnected  primary
vs1.example.com policy1    node2      10.1.1.2    connected    primary
vs1.example.com policy1    node2      10.1.1.3    disconnected  primary
```

この例は、接続されているFPolicyサーバに関する情報のみを表示します。

```
cluster1::> vserver fpolicy show-engine -fields server -server-status
connected
node          vserver          policy-name      server
-----
node1         vs1.example.com  policy1          10.1.1.2
node2         vs1.example.com  policy1          10.1.1.2
```

FPolicyパススルーリード接続のステータスに関する情報を表示する

クラスタまたは指定したStorage Virtual Machine (SVM) の外部FPolicyサーバ (FPolicyサーバ) へのFPolicyパススルーリード接続のステータスに関する情報を表示できます。この情報は、パススルーリードデータ接続が確立されているFPolicyサーバや、パススルーリード接続が切断されているFPolicyサーバを確認するのに役立ちます。

タスクの内容

いずれのパラメータも指定しない場合、次の情報が表示されます。

- SVM名
- FPolicyポリシー名
- ノード名
- FPolicyサーバのIPアドレス
- FPolicyパススルーリード接続のステータス

クラスタまたは特定のSVMのFPolicy接続に関する情報の表示に加え、コマンドパラメータを使用して、他の条件によってコマンドの出力をフィルタリングすることができます。

パラメータを指定すると、リストされているポリシーに関する詳細情報を表示できます `-instance`。また、パラメータを使用して、指定したフィールドのみをコマンド出力に表示することもできます `-fields`。パラメータのあとに `-fields`` と入力すると、使用できるフィールドを確認できます ``?`。

ステップ

1. 適切なコマンドを使用して、ノードとFPolicyサーバの間の接続ステータスに関する情報をフィルタリングして表示します。

表示する接続ステータス情報	入力するコマンド
クラスタのFPolicyパススルーリード接続ステータス	<code>vserver fpolicy show-passthrough-read-connection</code>
指定したSVMのFPolicyパススルーリード接続ステータス	<code>vserver fpolicy show-passthrough-read-connection -vserver vserver_name</code>

指定したポリシーのFPolicyパススルーリード接続ステータス	<code>vserver fpolicy show-passthrough-read-connection -policy-name policy_name</code>
指定したポリシーの詳細なFPolicyパススルーリード接続ステータス	<code>vserver fpolicy show-passthrough-read-connection -policy-name policy_name -instance</code>
指定したステータスのFPolicyパススルーリード接続ステータス	<pre>`vserver fpolicy show-passthrough-read-connection -policy-name policy_name -server-status status`サーバのステータスは、次のい ずれかになります。</pre> <ul style="list-style-type: none"> • connected • disconnected

例

次のコマンドは、クラスタ上のすべてのFPolicyサーバからのパススルーリード接続に関する情報を表示します。

```
cluster1::> vserver fpolicy show-passthrough-read-connection
```

Vserver	Policy Name	Node	FPolicy Server	Server Status
vs2.example.com	pol_cifs_2	FPolicy-01	2.2.2.2	disconnected
vs1.example.com	pol_cifs_1	FPolicy-01	1.1.1.1	connected

次のコマンドは、「pol_cifs_1」ポリシーに設定されているFPolicyサーバからのパススルーリード接続に関する詳細情報を表示します。

```
cluster1::> vserver fpolicy show-passthrough-read-connection -policy-name
pol_cifs_1 -instance
```

```

Node: FPolicy-01
Vserver: vs1.example.com
Policy: pol_cifs_1
Server: 1.1.1.1
Session ID of the Control Channel: 8cef052e-2502-11e3-
88d4-123478563412
Server Status: connected
Time Passthrough Read Channel was Connected: 9/24/2013 10:17:45
Time Passthrough Read Channel was Disconnected: -
Reason for Passthrough Read Channel Disconnection: none
```

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。